

自己評価・外部評価 評価表（別紙1）

事業所名：訪問介護ステーションあいわ

担当者名：畑岡 靖子

Oct-25

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
Ⅰ 構造評価(Structure)〔適切な事業運営〕									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者 等の在宅生活の継続」と「心身の機 能の維持回復」を実現するため、事 業所独自の理念を掲げている	○				事業所の理念を全員が周知で きるように掲示している。	
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のた めの取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの 特徴および事業所の理念につい て、その内容を十分に認識している	○				理念と目標を共有し、内容の 認識が行えている。	活動報告の中から職員皆さんで十 分に認識されていることが伺える。
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、 随時対応時のオペレーターの判断 能力など)の向上のため、職員を育 成するための具体的な仕組みの構 築や、法人内外の研修を受ける機 会等を確保している	○				事業所の年間計画と介護、看 護キャリアラダーの認定を受 け、質の向上、判断能力の向 上などに取り組んでいる。	
		4	管理者は、サービス提供時の職員 の配置等を検討する際、職員の能 力が最大限に発揮され、能力開発 が促されるよう配慮している	○				毎月の研修会、各職員登録ヘ ルパーの希望を入れた個別研 修会で指導、教育を行い、初 回訪問時には同行訪問をし、 技術の指導、確認を行っている。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				日々の訪問時、毎日の朝礼で報告、伝達を行っている。急な状態変化などにもアプリを活用し伝達が行えるようにしている。加えて、関係者が参加できる会議も月1回行えている。	十分にコミュニケーションがとれていると思われる。
(3) 適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	○				様々なケースに対応できるように、各職員の経験・能力に応じた人員の配置、業務内容・シフトの調整を行っている。	
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	○				推進会議で多職種からのご意見、ご指導をいただき改善の機会にしている。	介護・医療連携推進会議において、しっかり意見を聞いていただき改善に努めておられる。
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				介護看護のみならず、医療関係者、ケアマネジャー、通所などへはMCSを活用、社内メールLINEWORKS、MELL+等も活用し迅速な情報共有を行っている。	
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	○				災害時のマニュアルの整備、事業所の行動マニュアルの作成、研修会を通しての安全運転研修などを行い対策を立てている。	毎年、定期的に十分な研修・訓練を実施されている。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				個人情報の取り扱いについて年間研修計画に取り込み、施設職員全員参加の全体研修会でも研修している。登録ヘルパーを含め、誓約書を記入している。守秘義務については重要事項説明書に反映させ、説明を行っている。利用者全員に個人情報使用同意書を取り交わしている。	
Ⅱ 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24 時間	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				各利用者の生活リズムに着目し、アセスメントを行っている。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
	の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				利用開始前に本人と面談し毎日の生活リズム、生活習慣、要望を聞き、アセスメントに反映させている。毎月の合同会議で、看護、ケアマネジャー、関係部署など多職種で利用者の情報共有を行っている。	利用者ごとにしっかりアセスメントをされており個々の課題に向き合った支援を実践されている。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				介護、看護それぞれがモニタリングを行い、注意すべき点や内容の変更など計画書に反映させている。	
③	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	○				看護、リハと連携し、利用者の今後起こると予測されることに対し、それぞれの視点からの意見を取り入れ計画に反映させている。	
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				訪問時の観察から利用者の状態の変化が生じた時に、多職種等へ報告・相談を行い、訪問を調整している。	利用者の状況に応じて柔軟なサービス提供を実践されている。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				ヘルパーからの報告や看護からの連絡、訪問した職員の報告などで状況の変化をいち早く把握し、必要なサービス内容を計画書に反映させている。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	○				介護、看護ともそれぞれの視点から観察を行い、専門性を生かしながら役割分担を行いサービスに携わっている。	一体的なサービス提供ができるよう介護と看護が十分に連携されている。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				アセスメントナースの報告書(1回/月)に記載されている。必要時には、LINEWORKS・電話連絡、直接のやり取り等で報告・相談している。	
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				契約時に契約書、重要事項説明書に基づき説明を行い、納得していただいたうえでサービス開始となっている。日々の訪問中にも利用者の意向を聞き取りサービスに繋げている。。	
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				目標及びサービス内容について、定期巡回サービス計画書を使用し説明、理解したうえで署名をいただいている。	
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				利用者の状況変化や、それに伴うサービス提供の変化等について申し送り事項に記載するとともに、家族等へ適時、適切に報告・相談している。	利用者の状況変化等に対応するためご家族等としっかり連携されている。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				担当者会議、合同会議を通し、サービス内容の変更や継続、訪問回数の調整など各利用者にあったサービスを共同で決めることができています。	
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	○				目標達成のため、通信手段を使用し、各方面へのサービスの提案などを行っている。	
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				モニタリング報告書・多職種担当者会議・カンファレンス等で情報提供・共有を行っている。	しっかりと関係者と情報共有をされている。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	○				担当者会議などで、シルバー人材派遣や有償ボランティア・福祉タクシーなどの活用について提案し、多職種で検討している。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
	利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている <u>(※任意評価項目)</u>	○				退院時のカンファレンスに参加し、医療面では看護が生活面では介護がサービスの提供内容等提案し、情報の共有・調整に役立っている。	
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている <u>(※任意評価項目)</u>	○				関係者全員のできる限りの力を合わせることで包括的サポートとなっていると考えている。多職種との情報共有は密に行っている。	関係者が力を合わせて利用者の支援を行っている。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				当法人、ホームページ https://swc-aiwakai.jp/service/toyonaka_zaitaku/ に掲示している。	情報発信されている。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	○				市内の居宅事業所に営業活動を行っている。チラシの配布やモニタリング報告書の提出、法人の新聞などを届けている。	
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	○				地域包括ケアシステムの重要な役割であることを理解し、地域の社会的課題を提案する役割も担っていきたい。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				豊中市内全域が範囲となるため特定の建物の利用者だけでなく、依頼のあった地域への訪問を行っている。	
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている <u>(※任意評価項目)</u>	○				多職種連携会議・地域ケア会議などに参加、地域主催の防災についての研修会や、法人主催の地域に向けたイベントなどにも積極的に参加している。まちづくりに係る問題認識に努めている。	法人として他のサービスも含め地域での重要な拠点として積極的に活動をされている。
Ⅲ 結果評価(Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○				定期巡回サービスを利用することでそれぞれの目標の達成が図れている。	
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				サービスを導入したことで身体状況に合わせたサービス回数で、在宅生活の継続が可能となり、利用者、家族から安心感が得られている。	サービス導入後、利用者様とご家族が十分安心されていることが伺える。